

東京メトロとのタイアップ広報について（第三弾）について

2017年9月
一般社団法人 日本アルミニウム協会

当協会では広報事業の一環として、東京地下鉄株式会社様とのコラボレーションにより、第一弾として2015年に銀座線、第二弾として2016年に日比谷線をモデルとして、東京メトロの主要駅にポスターを掲載しました。

本年度、第三弾として、東西線をモデルとして下記の通りポスターを掲載中です。「東京メトロ流 アルミ車両進化論」をキャッチコピーとし、合金種別をシンプルにするなどしてアルミ車両からアルミ車両へのリサイクルを目指すことなどを訴え、アルミ車両のPRに努めます。東京メトロにご乗車の際は是非ご覧下さい。

1. **掲載期間**： 2017年9月22日（金）～10月7日（土）
2. **掲載駅**： 銀座駅、東京駅、新宿駅、秋葉原駅など全44駅
3. **ポスターデザイン**：

**東京メトロ流
アルミ車両進化論**

東西線編

リサイクル材料使用車両であることを示すステッカー（55系に貼付）

車両完全リサイクルへの挑戦
最新の15000系では、リサイクルに有利になるよう合金種別をシンプルにするなどして、アルミ車両からアルミ車両へのリサイクルを目指しています。

アプリをダウンロードして右の15000系車体写真をスマートフォンで写真を撮ると、車両に位置が埋められます！

アプリで検索！

COCOAR2

快適な車内空間
最新の15000系では側面などをダブルスキン構造（段ボールのような二重構造）とし、さらなるメンテナンスフリー化、快適さ、静寂さを追求しています。

安心安全のさらなる追求
最新の15000系においては、正面はアルミニウムを削り出さず、構造と強度に適合、また側面はワイドドアながらも車体強度を確保するため、肉厚を厚くしています。

5000系から始まった東西線アルミ車両の系譜
5000系は、ステンレス車両とアルミ車両がありました。一般的に重量を30%以上軽量化できるアルミ車両を試験的に導入、後のアルミ車両本格導入に向け貴重なデータを残しました。

詳しくは「鉄道車両の部屋」または

http://www.aluminum.or.jp/railway_vehicle

15000系（最新） 5000系アルミ車（旧型） 05系（最新）

東京地下鉄株式会社・一般社団法人日本アルミニウム協会
コラボレーション企画

タイアップポスター（第三弾）

東京メトロは、なぜ全部アルミ車両？

高い省エネ性能
軽量化アルミ車体は、消費電力の削減と走行抵抗の低減に効果的に貢献しています。100kmにわたってアルミ車体を使用することで、走行時の消費電力がアルミ車体と比べて約10%削減されています。

メンテナンスを減らす工夫
側面は二重構造のダブルスキン構造を採用。また、側面はワイドドアとダブルスキン構造とすることで、より、騒音と共振に起因する振動を抑制しています。

90%ものリサイクル率
東京メトロではアルミ車体を使用し、リサイクルに有利な合金種別をシンプルにするなどして、アルミ車両からアルミ車両へのリサイクルを目指しています。

詳しくは「鉄道車両の部屋」または

http://www.aluminum.or.jp/railway_vehicle

リサイクルの推進 鉄道車両の部屋 高い省エネ性能

タイアップポスター（第一弾）

東京メトロはすべてアルミ車両だから...

メンテナンスの負担を軽減
ダブルスキン構造の側面は、振動や騒音の低減に効果的に貢献しています。また、側面はワイドドアとダブルスキン構造とすることで、より、騒音と共振に起因する振動を抑制しています。

静かで快適な車内空間
最新の15000系では側面などをダブルスキン構造（段ボールのような二重構造）とし、さらなるメンテナンスフリー化、快適さ、静寂さを追求しています。

省エネへのさらなる貢献
軽量化アルミ車体は、消費電力の削減と走行抵抗の低減に効果的に貢献しています。100kmにわたってアルミ車体を使用することで、走行時の消費電力がアルミ車体と比べて約10%削減されています。

詳しくは「鉄道車両の部屋」または

http://www.aluminum.or.jp/railway_vehicle

高いリサイクル率 省エネへのさらなる貢献

タイアップポスター（第二弾）